

第1回那須烏山市教育振興ビジョン（Ⅳ期計画）審議会 会議録

日 時：令和7年12月23日（火）午後2時58分～午後3時55分

場 所：南那須庁舎 大会議室

出席者：委員8名（山久保委員、齊藤委員、高野委員、金枝委員、山内委員、山縣委員、
藤田（繁）委員、藤田（友）委員）

事務局9名（学校教育課：齋藤課長、菊地主幹、五味渕主幹、鈴木課長補佐、
生涯学習課：塩野目課長、川島課長補佐、櫻井課長補佐、
こども課：水上課長、小原沢主幹）

1 開 会

2 あいさつ（内藤教育長）

- ・次年度に向けて、教育振興ビジョンを策定しているところである。

那須烏山市教育振興ビジョンというのは、5年計画で実施していくもので第Ⅲ期計画が今年度で終了する。令和8年から第Ⅳ期の計画を策定し、教育活動を推進していくため、本日は教育振興ビジョン審議会を開催した。

骨子案を作成したので、皆様から忌憚のないご意見をいただき、本市の子供たちばかりではなく、市民の皆様の教育、生涯学習も含め、よりよい教育振興ビジョンの策定をさせていただきたいと思う。

3 協議事項

（1）会長及び会長職務代理者の選任について

- ・事務局案により山久保委員を選出し承認された。職務代理者は佐竹委員を指名した。

（2）那須烏山市教育振興ビジョン（Ⅳ期計画）計画日程等について

- ・事務局より配付資料に沿って、計画日程及び経過について説明した。

【質疑・意見】山久保会長より委員へ確認

質疑・意見はなかった。

（3）那須烏山市教育振興ビジョン（Ⅳ期計画）骨子について

- ・事務局より次のとおり説明した。

激しく変化する社会や教育の動向により、人口減少や地域力の低下、不登校や心の不調の増加、教育ニーズの多様化、さらに教育におけるAI、デジタル化といった新たな課題が浮き彫りになっている。

こうした背景を踏まえ、第Ⅳ期では未来の担い手を育てる教育を改めて掲げ、学校、家庭、地域が協働して学びを作り上げるとともにつくる教育の必要性を基本理念に据えて、未来へ羽ばたく力を育みともにつくる新たな人づくり、サブテーマとして、「一人一人が夢を抱く地域とともに輝く教育の推進」とした。

第Ⅲ期教育振興ビジョンで、知の教育、心の教育、命の教育の3つに整理されていた基本目標は、多様な課題と時代の激しい変化に対応するために、今回は6つの基本目標として再整理した。Ⅲ期計画に明文化されていなかった道徳教育や人権教育、命の教育の他に、新たな視点として個別最適な学び、インクルーシブ教育、教育DX、発達支持的生徒指導、部活動の地域展開、教育におけるウェルビーイング等を網羅する基本目標となっている。

基本目標ごとに、3から5つの主な取り組み案を示し、更にその中で重点目標を設定した。この重点目標は、社会の動向、国や県の計画との整合性、本市における課題解決の視点から設定したもの。それらに対する評価指標を設け、毎年点検評価を行っていく予定である。

【質疑・意見】山久保会長より委員へ確認

委 員：骨子案裏面の第2章本市の成果と課題というところで、誰一人取り残さない社会とあるが、現在は子ども視点で「取り残されない」だったかと思うのが1点。もう1点は、一人一人の表現。ここは漢字で一人、ひらがなでひとり。意図的なのかと思うが。

学校教育課：誰一人取り残さない社会、現在、取り残されないというような意図はない。もう一度確認して、修正をさせていただきたい。また、一人一人の表記だが、県の素案を参考にしたが、意図は特にない。今後調べて、揃えていくようにする。

委 員：資料の推進指標で体育協会とあるが、現在はスポーツ協会なのでここは表記誤りと思った。それと、骨子案で成果と課題とあり、課題のところに地域の教育力低下とあるが、私が住んでいる学校地域は頑張っていると感じるが、具体的にどんなことが、教育力の低下に繋がっているのか教えていただきたい。

学校教育課：スポーツ協会については確認する。

もう1つの地域の教育力の低下については、もちろん、地域の方のご協力をたくさんの方でいただいているところ。こちらでの地域の教育力の低下というものは、学力学習状況調査を年に1度4月に行っており、本調査に児童生徒質問紙という項目がある。その質問紙の中において、地域の方の

関わりがあるかというような質問の項目があり、ほとんどの質問項目が本市では県や全国よりも上回って肯定的なものが多かったが、残念ながらこの質問に関しては、国や県も低い、本市の方もかなり低い。そういった意味で、子どもたち目線の考え方でいくと、なかなか地域の接点というものが少ないということで、決して地域のご指導いただける力や、協力が低いということではなく、子どもたちのそうした接点をどのように増やしていき、教育に生かしていくかというような形のものである。

生涯学習課：体育協会の表記について、第Ⅲ期計画の指標で当時策定した時は、まだ体育協会であったことから、そのように表記している。新たに指標とする場合は、スポーツ協会で表記する。

委員：関連して、例えば、塙の天祭や地域のお祭りで子どもたちのお囃子、花いっぱい運動など、行事が結構あるが、子どもたちが評価の中であまり関わっていないと言っているのは、まだまだ足りないところもあるのかと思うが、地域によっては、結構やっているのではないかというのが私の感想である。

委員：ABC/R教育があるかと思うが、それは関係があるのか。

学校教育課：第Ⅲ期の方で入れている。学校でも呼びかけを行っているので、今後も継続していければと思う。

委員：計画上、施設を造るようなことはあるのか。例えば、民俗資料館を造るといった具体的な計画はないのか。

学校教育課：具体的な施設名などは本ビジョンに入らない。具体的な計画は、生涯学習課の個別施設計画に記載する。

委員：どの目標をどの課が担当するかをもう一度教えて欲しい。

学校教育課：あくまでも、主に担当するという形で、骨子案裏面の6つの基本目標の表の一番右側に記載している。こちらに担当課という形で、目標1については、学校教育課とこども課、目標2については、学校教育課、3については、生涯学習課、4は学校教育と生涯学習課、5は学校教育課、6は学校教育課と生涯学習課となっている。

委員：今の目標等の内容についてだが、これは県の振興ビジョンの文言と、なるべく同じものを使っている、整合性を取っているということではよろしいか。

学校教育課：県では、ちょうどパブコメを実施している段階で、多少のずれもあるが、基本的には県の言葉を使うようにしている。

委員：先ほどと同じように、例えば、目標 5 の誰一人取り残さない共生社会、今の流れからすると方向性としては違和感がある。他に 10 ページの目標 2 施策 2—2、主な取り組みの一番上、「考え、議論する道徳」を中心とした道徳教育の体系的推進。こちらも違和感がある。これは県の流れでというのならいいが、そうでないなら多少精査した方が良いと思う。

委員：本市の小学校、中学校体育館の冷暖房の完備は計画に挙がるのか。

学校教育課：そちらの方は、こちらに具体的には入っていない。

ただ、エアコンの設置については多方面から要望があるので、協議を進めている状況である。

委員：大変よくできている骨子案だと思うが、当然そういう言葉使わなくてはいけないと思うが、もう少し分かりやすい言葉で書いてもらおうと誰もが理解して計画を進められると思うので検討をお願いします。

(4) その他について

- ・ 次回の開催日程確認を行った。

閉 会 午後 3 時 55 分